



空き端子に挿すだけでグレードアップ 顕著な効果を発揮する注目アイテム ラインオプティマイザーが新登場

NCF Clear Lineは空き端子に差すだけで、端子から誘導されるノイズをチューニング処理してくれるパッシブタイプの注目アクセサリで、電源用で好評を得る。新登場のライン用は、最高峰RCAとXLRプラグの技術を応用し、機器の出力または入力端子に直接装着する。特殊制振塗料でコーティングしたセラミックコンデンサーで音の色付けをせず、埋もれていた音源本来の魅力を引き出す効果を持ち、NCFの強力な制振効果と静電効果も備える。その注目の効果を角田郁雄氏が自宅のシステムで体験した。

NCF Clear Line-XLR(M)

¥39,380 / 1個、税込(入力用、右から4番目)



Text by
角田郁雄
Ikeo Tsunoda
Photo by 田代法生

NCF Clear Line-XLR(F)

¥39,380 / 1個、税込(出力用、右から3番目)

FURUTECH NCF Clear Line-RCA

¥28,380 / 1個、税込(右側の2つ)



本シリーズの製品カテゴリーは「ライン オプティマイザー」(Line optimizer)。使用する製品の入力および出力回路の構成によっては、左右チャンネルを同時に使用(2個使い)した方が、より理想的な作用が望める

本シリーズの主な特徴

- センターピン内部に静電対策としてフルテックの特殊素材「NCF」を注入したAlpha OCCロジウムメッキのワンピース中心導体
- 全てのコネクタ、導体の金属部品は、フルテックの2段階の超低温処理および特殊電磁界処理「a-Process」を採用●エンドカバーは、NCF配合耐熱性ナイロン樹脂製で振動を効果的に吸収●優れた振動減衰特性を持つマルチマテリアルハイブリッド構造を採用

入出力の空き端子を積極活用し埋もれていた表現力を引き出す

フルテックは、静電気と振動を低減させるNCF素材を研究開発し、製品化を行った。その代表製品は、NCF Boosterシリーズだ。国内はもちろんのこと、世界のハイエンドブランドによるオーディオショウなどでも使用され、愛好家の導入が広がった。さらに電源コネクタやRCAとXLRコネクタへも採用し、これらを搭載したケーブルなども発売。とりわけ、RCAとXLRコネクタは、従来では考えられない、コネクタ自体の静電気と振動を低減することに成功した。私個人としては、電気的特性において静電容量を低減させていると考えられ、固有音の少ない高解像度ワイドレンジ・コネクタに仕上がったと、高く評価し導入した。

そして、電源用のオプティマイザー「NCF Clear Line」に続き、今回は新製品として、ライン入出力の音質を最適化するラインオプティマイザー、NCF Clear Line・RCAとXLRを登場させた。本製品は、CDプレーヤー、DAC、リアンプ、プリメインアンプなどの空



構造図(右がRCA、左がXLR)。独自の静電気と振動を低減するNCFや高品位素材を、特殊設計で採用する

き端子に設置することにより、S/Nの改善、音のディテール向上、埋もれていた音源本来の魅力を引き出すことを目的としたアイテムだ。その形状は写真のとおりで実に精密感があり、美しく高級感のあるデザインだ。その構造は実に複雑で、主たる構造を紹介しておこう(詳しくは図を参考にされたい)。本体は、RCAコネクタであるCF・102 NCFやXLRバランス型コネクタ、CF・601 M NCF、CF・602 F NCFの構造を踏襲し、ピ

センシング系

電源系



「NCF Clear Line-RCA」はチャックロック式の機構を備えており、最良の効果を得るためにはロックして使用を推奨(ボディは回さず、ハウジングのみを回して使用)

ン絶縁体とピンの中心にNCF材を採用している。ハウジング(外装)には、制振性の高いステンレス材が使用され、その表面は、特殊なNCFカーボンファイバー層など4層で仕上げられている。さらにハウジングの表面積を増やすために凹凸のついたNCFエンドカバー(本体のキャップ)までも設置。もし、これをコネクタと考えれば、結構、重量級だ。これは、制振効果を高めると同時に、微細ノイズの導電性とNCFの静電気除去性能を高めるために、本体の低インピーダンス化を図ったのではないかと、私は推察している。これだけでも音質効果が得られると思うのだが、これに留まらず、内部には、パッシブタイプの

アリス系

ケーブル系



「NCF Clear Line-XLR(F)」と「NCF Clear Line-XLR(M)」。同社最高峰のXLRプラグの優れた構成を継承した設計によって、より効果的にクオリティアップに貢献する

セラミックコンデンサ(2個)までも採用した。これは、コンデンサー内部の誘電体がノイズを吸収するためで、音質に関係するため、数々のコンデンサーを試したそう。微細振動低減のために、シルバーの特殊制振塗料でコーティングも行った。さらに同社お家芸の超低温処理及び特殊電磁界処理であるα-Processを本体に施し製品化した。このように高精度な技術が搭載されているのだ。

チェーリング系

ソース系



電源用の「NCF Clear Line」(¥27,588、税込)。空いているコンセントに差し込むだけで効果を得られる

●NCF Clear Line-RCA
超微弱音が出て繊細で柔らかな透明度が向上し空気感も再現
実際にNCF Clear Line-RCAをSACDプレーヤーのRCA出力端子に使用した

が、音質は明らかに変化した。ヴォーカル曲を再生すると、ピアノ、トランペット、ヴォーカルにアタック感が強い状態が、本製品を使用するとその強調感が和らぎ、繊細で柔らかな音質が加わり、自然な立ち上がりも聴けた。これはまさに、ノイズに埋もれそうな超微弱音が楽器や声の倍音に付加されたからだと推察される。声質は、まさに肉声のように思えた。音の透明度も向上し、録音場所である教会の空気感もよく再現された。

●NCF Clear Line-XLR(M)
XLRも同様の効果を発揮
複合使用ではより私が望む音に
次にNCF Clear Line-XLR(M)をプリアンプの入力端子でも試したが、CDプレーヤーと同様の効果が得られた。前述のCDプレーヤーとこのプリアンプに同時使用すると、驚くほどの高解像度な空間描写性が得られた。クラシックでは、未使用時には左右両翼のヴァイオリンパートのアタック感がシャープ(音のエッジが強め)だったが、そのエッジが弱まり、録音の良い曲を再生すると、演奏会に近い、柔らかで膨らみのある音へと変化した。こうした変化は私の望んだ音だ。実際の使用にあたっては、機器の入出力で試し、最も効果的な端子を選ぶと良いであろう。もちろん、最適な位置を探り、数を増やせばさらに効果が増す。ぜひ一度、専門店を試すと良いであろう。